

AI 入門講座 ②

令和 4 年 1.29 土

10:00 ~ 12:00

講義 現代AI事始め

産業界で不可欠となった現代AIの基礎技術である機械学習、特に深層学習(ディープラーニング)を中心に発展過程や基礎を学ぶ。

13:00 ~ 17:00

実習 AIのためのPython入門

AIの実装においては、現在Pythonと呼ばれるプログラミング言語が広く普及しており、これを習得することが現在AIを学ぶ上で不可欠である。実習ではPython言語の基礎を学ぶ。

令和 4 年 1.30 日

10:00 ~ 12:00

講義 機械学習の基礎技術

画像認識や音声認識などの各種応用に触れながら、機械学習、特に深層学習の基礎であるニューラルネットワークの基礎技術を中心に学ぶ。

13:00 ~ 17:00

実習 PythonによるAI実装入門

Pythonの代表的な機械学習ライブラリであるscikit-learnを用いると様々な機械学習手法を試すことができる。このライブラリを利用して、分類や認識のためのAI実装の基礎技術を学ぶ。

松井 伸之氏

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構
人工知能研究教育センター研究部長

2021.3.28
神戸新聞
朝刊掲載

教えて!先生

兵庫県立大学人工知能研究教育センター
研究部長

松井伸之名誉教授

事故時の説明責任も研究

人工知能(AI)の研究は1950年代に始まり、2016年に囲碁のトップ棋士を破って一躍注目されました。画像や音声認識する技術も飛躍的に向上し、自動運転は「目」と「耳」を獲得したと言えます。人間の脳は「集中」するこ

とで目の前の光景の中から注意すべき領域を選び出し、情報を効率よく処理します。AIにもこの原理が導入され、画像認識が向上しました。今や、画像認識でミスをする確率は人間以下になっています。

ただし、道徳や倫理的な問題があります。例えばの想定ですが、車のブレーキが壊れ、直進すれば大人5人をはね、ハンドルを切れば子ども1人をはねる状況になったとする。どちらを選ぶべきか。誰も答えは出せません。AIの判断過程はブラックボックスな面があります。事故の説明責任のため、判断理由を明示できるAIも研究されています。

磯川 悌次郎氏

兵庫県立大学大学院工学研究科電子情報工学専攻 准教授
兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 人工知能研究教育センター副センター長

自然計算に基づく人工知能技術およびナノコンピューティング、分子ロボティクスなどに関する研究を展開している。

◆ 注意事項

- 受講料は、別途「納入通知書」を郵送しますので、納入期限までに金融機関(ゆうちょ以外)で納入のうえ、領収書を受講初日にご持参ください。
- 勤務先名にてお支払いの場合は「納入通知書」を勤務先に送付いたします。
- 受講ができなくなった場合、学院までFAX(078-794-6637)でご連絡ください。1月25日(火)までに連絡があれば受講料を返金します。連絡がない場合は、全額負担していただきます。